

労働安全コンサルタント試験

模擬問題集

[300問]

(株) テクノ・リアライズ

【はじめに】

労働安全コンサルタントは、労働者の安全水準の向上を図るため、事業場の安全管理指導および診断をはじめとする安全に関する業務を行うことができる上級の国家資格であり、労働安全コンサルタント試験に合格し登録者した方に対する名誉ある称号です。

労働安全コンサルタントの業務には、事業場の依頼に基づく外部契約による安全管理者などの業務の他、労働基準監督署からの依頼に基づく事業場の安全診断および労働安全衛生マネジメントシステムの監査員や評価員としての高度な業務をこなすことも可能です。

このため、労働安全コンサルタント試験は、安全に関する豊富な知識を問う内容となっており、容易に合格することはできません。

しかし、1級土木・建築施工管理士、技術士、第1種電気主任技術者および1級建築士等の高度な国家資格の保有者には、3科目のうち、最もレベルの高い専門科目についての免除要件が与えられています。

そこで、これらの資格保有者を対象として、産業安全一般および安全関係法令の2科目について、出題実績を分析し問題集を制作しました。

本書は、過去問題集PART1およびPART3に続く問題集であり、併行して制作した受験対策テキストとのセット学習により、労働安全コンサルタントの筆記試験を突破できるようにしています。

具体的には、過去問題を分析し、各分野での出題実績を把握するとともに、各分野での重要事項を体系化し、漏れなく盛り込む形態でまとめました。

本書およびテキストの学習によって、高度な難関試験を突破され、労働安全コンサルタントとして活躍されることを期待します。

(株) テクノ・リアライズ

「労働安全コンサルタント試験」模擬問題集

～ 目 次 ～

PART 1	産業安全一般	1
	1. 安全管理	2
	2. 材料安全	5
	3. 信頼性工学概論	8
	4. 運搬工学概論	10
	5. 人間工学概論	13
	6. 安全心理学概論	15
	7. 安全点検および保守	18
	8. 安全教育	20
	9. 作業分析および作業標準	24
	10. 強度計算	26
	11. 安全に関する各種検査法	27
	12. 安全装置	32
	13. 保護具	37
	14. 危険物の管理、防火関係	39
	15. 電気災害の防止	42
	16. 労働災害の調査および原因の分析	44
	17. 労働衛生概論	50
	18. 安全に関する事前評価	52
	19. 安全衛生水準向上のための自主活動	55
1-1	産業安全一般の解答・解説	57

PART 2 産業安全関係法令	105
1. 安全管理体制	106
2. 機械による危険防止	112
3. 荷役運搬作業等における危険防止	116
4. 掘削作業等における危険防止	120
5. 墜落・飛来落下による危険防止	125
6. 伐木作業等における危険防止	128
7. 爆発、火災等の防止	129
8. 電気災害の防止	134
9. ボイラー等の危険防止	138
10. クレーン等の危険防止	143
11. 元方事業者等が実施すべき事項	145
12. 機械、建築物の規制	152
13. 労働者の就業	156
14. 計画届出、報告等	160
15. 安全診断事例検討	163
2-1. 産業安全関係法令の解答・解説	165

【本書の制作にあたって】

1. 問題の修正掲載について

実際に出題された問題において、次に掲げる内容については、現代国語表記の基準に合致していないなど、問題があると判断し、修正して掲載しましたのでお願いします。

(1) 法令条文の記載ミスの修正

次のようなミスについては、適宜修正しました。

あつては → あっては 行なう → 行う

意見を「聞く」と「聴く」が混在 → 意見を「聴く」に統一

(2) 漢字とひらがな書きの混在を漢字書きに統一

次については、漢字とひらがな書きが混在していたため、漢字書きに統一しました。

超える、就かせる、荷を吊って、免許を受けた者

(3) 用語の意味からの判断による修正

地下に埋設された地中電線路等について、「地下に在する」 →

「地下に存する」

絶縁用防護具 → 絶縁用防具（絶縁用保護具と混同した用語となっている。）

(4) ひらがな書きの原則に基づいた修正

接続詞が漢字表記になっていますが、内閣告示に基づく国語表記の基準〔現代仮名遣い：ひらがな書きの原則〕に従って、説明文については修正しました。

（法令条文を除く。） 又は → または 及び → および

2. その他

問題および解答・解説について、疑問を感じられる場合には、ご連絡ください。

【問合せ先】 E-mail : info@techno-realize.com

PART 1

産業安全一般

PART 1. 産業安全一般の模擬問題

1. 安全管理

問題 1-1 安全管理等に関する次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- ① 10 人程度の小規模事業場においては、安全に関する事項について、関係労働者の意見を聴く機会を設ける必要はあるが、あえて安全委員会を設ける必要はない。
- ② 新しい機械を工場に導入するにあたっては、作業者の操作ミスがあっても災害に結びつくことがないように、またその電気回路に故障が発生した場合には、機械が安全側に作動するように設計することを前もって検討することが必要である。
- ③ 労働災害は、機械設備等の物の面と作業方法等の人の面との両方の要素が原因となって発生するものが大部分であり、その防止対策についても、物と人の両面から検討するとともに、管理の面からも検討することが必要である。
- ④ 安全委員会は、事業場の安全問題に関する最終決定を行う機関ではなく、労使で安全管理や安全活動に対して調査審議する場である。
- ⑤ 安全活動は、現場の労働者からの盛り上げが大切なので、ボトムアップ方式の小集団活動方式の安全管理が望ましい。

問題 1-2 安全管理等に関する次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- ① 安全当番、安全朝礼、安全パトロール、ヒヤリハットなどの制度は、作業者の参加意識や安全意識の向上に役立つ。
- ② ハインリッヒの法則とは、重大災害 1 件が発生する裏には、ヒヤリハットが 300 件あり、軽傷も 29 件起きているというアメリカのハインリッヒ博士が分析した事故の確率をいう。
- ③ バードの法則とは、重症災害の起こる割合が 1 に対して、軽症災害が起こる割合が 10、事故にはつながらなかったヒヤリハットが 600 件発生するバード博士が分析した法則である。
- ④ 指差呼称は、フェーズⅣ、つまり活動波（ α 波）に近づける効果がある。
- ⑤ 通常意識レベルは、フェーズⅡであり、定常作業はこのレベルで処理がなされるため、機械の安全化や作業環境の安全化によってカバーする必要がある。

問題 1-3 職場における安全活動に関する次の記述のうち、誤っているもののみの組合せはどれか。

- イ KYK とは、現場や作業の状況の中に潜む危険要因を発見し、その問題点を解決して、危険に対する感受性や集中力、問題解決能力を高める活動である。
- ロ TBM は、小集団活動として行われる活動であり、現場出向前に事務所において、全員が参加し、誰でもが自由に発言し、納得を得るような雰囲気を実施する打合せである。
- ハ TBM-KY とは、ミーティングと KY の両方を同時に行うものであり、その日に実施する作業について危険を予測し、実際に作業行動に活かす活動手法である。
- ニ KY 基礎 4 ラウンド法とは、(1) どんな危険がひそんでいるか（現状把握）、(2) これ危険と対策だ（問題点の絞り込みと対策検討）、(3) 私たちはこうする（行動の決定）、(4) ○○ヨシ（指差し呼称）の 4 段階で進める活動手法である。

PART 1-1

産業安全一般の解答・解説

PART 1-1. 産業安全一般の解答・解説

1. 安全管理

問題 1-1 ⑤

- ①適切。50人未満の事業場においては、安全委員会の開催義務はないが、労働者の意見を聴く機会を設けなければならない。
- ②適切。故障が発生した場合には、安全側に作動するように設計することを前もって検討することが必要である。これが機械設計原則である。
- ③適切。労働災害は、機械設備等の物の面と作業方法等の人の面との両方の要素が原因となって発生するものが大部分である。従って、防止対策の検討についても、物と人の両面から行う必要がある。
- ④適切。安全委員会は、労使双方で安全管理や安全活動に対して調査審議する場であり、最終決定権は事業者にある。
- ⑤不適切。ボトムアップ方式の小集団活動方式によつての検討や改善活動は重要であるが、安全活動は、トップダウン方式によつて確実に災害の防止を図っていかなければならない。

問題 1-2 ④

- ①適切。各種安全活動の制度は、作業者の参加意識や安全意識の向上に役立つ。
- ②適切。ハインリッヒの法則は、重大災害1件が発生する裏には、ヒヤリハットが300件という、通称「300事故の法則」と言われている。
- ③適切。バードは、ハインリッヒの弟子であり、ハインリッヒの法則と同様、「障害のピラミッド」の法則である。H・H（ヒヤリ・ハット）のうち表に出ないものの割合が600になるという分析結果（297社、175万件の分析）をいう。
- ④不適切。指差呼称は、フェーズⅢ（活動波：β波）に近づける効果がある。これに対してフェーズⅣは、パニック状態であり、「てんかん波」（一部、β波を含む。）である。
- ⑤適切。通常意識レベルのフェーズⅡからアップ・集中させる効果がある。

問題 1-3 ③

③「ロ」と「ニ」が誤り。

イ：正しい。KYK（危険予知活動）は、現場や作業の状況の中に潜む危険要因を発見し、その問題点を解決して、危険に対する感受性や集中力および問題解決能力を高める活動である。

ロ：誤り。TBMは、事務所ではなく、作業現場（工具箱に腰を掛けるなど）で実施するものである。

ハ：正しい。TBM-KYとは、ツールボックスミーティングとKYの両方を同時に行うものであり、その日に実施する作業について危険を予測し、実際に作業行動に活かす活動手法である。

ニ：誤り。4ラウンドKY法のステップは、次のとおりである。

第1段階：どんな危険が潜んでいるか（現状把握）

第2段階：これが危険のポイントだ（問題点の絞り込み）

第3段階：あなたならどうする（対策の検討）

PART 2

産業安全関係法令

PART 2. 産業安全関係法令の模擬問題

1. 安全管理体制

問題 1-1 安全管理体制に関する次のイ～ホの記述のうち、労働安全衛生法令上、誤っているものの組合せはどれか。

- イ 常時 100 人の労働者を使用する林業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- ロ 常時 100 人の労働者を使用する鉱業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- ハ 常時 100 人の労働者を使用する電気業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- ニ 常時 300 人の労働者を使用する商品卸売業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- ホ 常時 300 人の労働者を使用する警備業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。

- ①ロとハ ②ロとニ ③ハとニ ④ハとホ ⑤ニとホ

問題 1-2 安全管理体制に関する次の記述のうち、労働安全衛生法令上、誤っているものはどれか。

- ①常時 100 人の労働者を使用する運送業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任しなければならない。
- ②常時 100 人の労働者を使用する通信業の事業場においては、総括安全衛生管理者を選任する必要はない。
- ③常時 30 人の労働者を使用する製造業の事業場においては、安全管理者を選任しなければならない。
- ④常時 50 人の労働者を使用する鉱業の事業場においては、安全管理者を選任しなければならない。
- ⑤常時 30 人の労働者を使用する旅館業の事業場においては、安全衛生推進者を選任しなければならない。

問題 1-3 安全管理体制に関する次の記述のうち、労働安全衛生法令上、違反または誤っているものはどれか。

- ①常時 50 人の労働者を使用する清掃業の事業場において、安全委員会の議長を工場長代理に指名した。
- ②常時 50 人の労働者を使用する家具小売業の事業場を新設することとなったが、安全管理者の適任者を決めるのに時間を要するので、その事業場の事業の開始後の 14 日目に安全管理者を選任することとした。
- ③安全管理者を選任しなければならない事業場が、所定の期日までに当該事業場の専属の者を安全管理者として選任できないため、選任するまでの間、外部の労働安全コンサルタントに安全管理者の業務を代行させた。

【参考文献】

1. 安全の指標（中央労働災害防止協会）
2. 労働衛生のしおり（同上）
3. ひと目で分かる安衛法（武下尚憲／労働調査会）
4. ひと目で分かる安衛則（武下尚憲／労働調査会）
5. 安全法令「ダイジェスト」ポケット版（労働新聞社）
6. 新しい時代の安全管理のすべて（大関親／中央労働災害防止協会）
7. 労働安全コンサルタント試験問題集 PART 1（テクノ・リアライズ）
8. 労働安全コンサルタント試験問題集 PART 2（テクノ・リアライズ）
9. 労働安全コンサルタント試験 受験対策テキスト（テクノ・リアライズ）

労働安全コンサルタント試験 模擬問題集

2012年 1月10日 第1版 第1刷発行

2015年 4月13日 第4版 第1刷発行

編著 株式会社 テクノ・リアライズ

発行者 谷村勇輔

発行所 ブイツーソリューション

〒466-0848 名古屋市昭和区長戸町 4-40

TEL 052-799-7391 FAX 052-799-7984

(定価はカバーに記載してあります)

印刷所 藤原印刷

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。ブイツーソリューション宛にご連絡ください。
本書の無断複写は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

ISBN 978-4-86476-305-9

©Techno Realize Printed in Japan